



セカンドハーベスト名古屋

SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2023.1月号

NO.19

発行元 認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒462-0831 愛知県名古屋市北区城東町七丁目148番地

TEL:052-913-6280 FAX:052-913-6281

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:https://www.2h-nagoya.org/

編集/印刷 橋本写植

団体支援 仕分作業

食品の引取り



食べ物をつなぐ、私たちのいまとこれから



2022年度 活動を振り返って

今年もお世話になりました。

2022年もコロナ禍が続く中、ウィズコロナでの経済活動が少しずつ活発化してきましたが、2月のロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギー危機、諸物価高騰が大きく影響し、生活困窮者が更に増えていると思われました。一方、SDGsの機運の高まりもあって食品ロス低減に向けての取組みがさらに進んだことにより、食品メーカーからの食品寄贈量の減少が顕著に認められるようになりました。そこで、7月に営業隊活動を再開し、過去に実績があったものの昨今食品の提供が減少あるいは中断している会社を中心に我々の活動内容を報告する活動を展開してきました。訪問した各社はやはり食品ロスに注力していましたが、我々の活動に理解を示して頂き、今後の展開に期待したいと思っています。また、フードバンクネットワークを構築する活動においても、食品メーカーへの拠点への直送をお願いする

など実績ができつつあります。

本年の食品収集量は約500トン程度と見込まれ、目標である550トンにはやや届かないものの現況ではまずまずの結果とみています。また、個人支援件数は年初の減少が影響し約6,700世帯程度と見込まれていますが、コロナ禍の中依然として高水準にあります。団体支援については、昨年から完全予約引取り制としていますが、配布先を拡張すべく一部配送の試行を行いつつあります。広報活動も積極的に行い、昨年に続き数多くのマスコミに紹介されました。また、この影響もあってか様々な企業・団体がフードドライブ活動に取組んで頂けるようになりました、フードドライブによる食品収集量が個人支援に使用する食品の20%を超えるようになりました。

これらの成果は、ボランティア・事務局職員の頑張り並びに2HNをご支援いただいている全ての方のおかげです。皆様に感謝いたします。2023年も多難な年になるかと思いますが、皆様よろしくお願ひ申し上げます。

CONTENTS

- 2022年度、活動を振り返って…p.1 2022年概況……p.2
「2HN支え合う会」スタート！…p.3 学生との取組……p.4



公式 Twitter 始めました。公式 Facebook と共に、日々の活動や寄贈のお礼、イベント情報などを配信しています。

コロナ禍における2022年概況

食品取扱量 500 トン

2022年は前年より20 t 減の500 t の食品取扱量になる見込みです。メディアやSNS発信を通じてフードバンク活動の認知度が高まり、提供企業数は前年に比べ8%増えました。一方で、食品ロス削減の取り組みにより、1社あたりの提供量は毎年減少傾向にあります。企業や個人の皆様、地域のフードドライブ活動など様々な寄贈により、私達の活動が支えられています。



団体支援 185 団体

児童養護施設、ホームレス支援団体、子ども食堂、母子家庭支援施設など各種福祉団体185団体に食品を提供しました。昨年に比べ、登録する団体数が増え、各団体の引取頻度も増加傾向にあります。食品価格が高騰する昨今、各団体からより多くの支援が求められています。

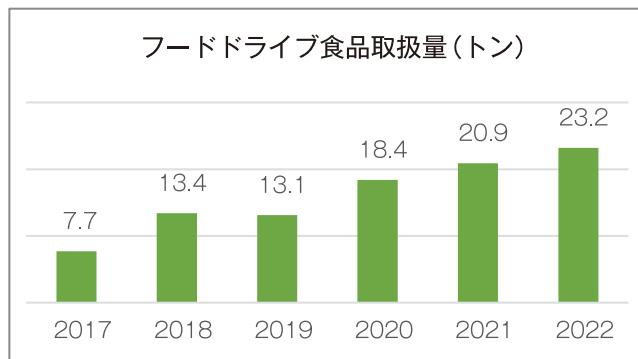
個人支援 6,700 世帯

行政が設置した相談窓口と連携した個人支援・社会的養護の施設と連携した個人支援は、コロナ前と比較し過去2年で1.5倍に増えました。2022年は6,700世帯と前年を下回ったものの、コロナ禍の爪痕は大きく、生活に困っている人たちの切迫した状況は改善していません。寄贈された食品の中から、なるべく栄養のある食品をバランスよく詰め合わせてお届けすることで、受け取る方たちのお腹を満たすだけではなく、精神的安定にも繋がることを願っています。

※2022年度実績は、1～11月実績に基づく推計値

フードドライブ 23 トン

企業や学校、地域団体のSDGsへの関心の高まりや、人が集まるイベントの再開、フードドライブ活動の浸透により、年々フードドライブによる寄贈量が増えていました。2022年は23トンと前年に比べ11%増となりました。寄贈先として、2HNを選んでいただいた皆様の期待に沿えるよう、食品を必要としている方へお届けします。



サッカーの名古屋グランパス様、バスケットの名古屋ダイヤモンドドルフィンズ様に続き、トヨタ車体ハンドボール部『ブレイブキングス』様もフードドライブを実施してくださいました。

寄付金 2割減

コロナ禍で生活に困っている人を助けたいという人々の意識が高まったこともあり、過去2年は企業・個人の皆様からの寄付が大幅に増えておりましたが、2022年の寄付金額は前年に比べ、2割減となりました。フードバンク活動を続けていくためには、食品を保管する倉庫代や車両のガソリン代など様々な費用がかかります。個人・企業の皆様からの寄付金によって活動が支えられています。少額でも構いませんので、皆様のあたたかなご支援をお願いいたします。



2013年「セカンドハーベスト名古屋（2HN）支える会」設立以来、経済的にパートナー団体の皆さんに支えて頂いた状況から、少し余裕が持てる状況になりました。こうした環境の変化の中「一方的に支えてもらう関係」から「支え合う関係」にしたいとの思い、同時に皆さんから「食品をもらうだけではなく、2HNのために何かしたい」との声も複数頂いた中で今回大きく舵を切るに至ったことは周知のとおりです。

今年度より新しく「お互いに支え合い、交流や意見交換を言える場をつくること」を目的に全ての団体（約280団体）が加入するという体制でのスタートとなりました。

「支える会」から「支え合う会」へ、何がどう変わっていく必要があるのか？変わらなければならぬのか？担当理事としては自問自答の日々でした。まずはパートナー団体の皆さんとの声を聞かせていただくことを大切にしたいとの思いから、グループに分かれての交流会の時間を新たに設けました。お互い顔を合わせ、実情に耳を傾ける。他の団体を知る機会になればとの試みでした。ささやかではありますが団体同士交流の第一歩を踏み出せたかなと思って頂ければありがたい限りです。



今後に向けて

パートナー団体の皆さんから頂いたご意見・アンケート、スタッフ内での反省会を踏まえ来年度の「支え合う会」に活かしていきたいと考えています。すでに様々なアイデアも頂いています。今後パートナー団体の皆さんにも色々お願いすることも出てくるかもしれません。その節はどうぞよろしくお願ひいたします。

最後になりましたがご協力いただきましたすべての皆さんの“知恵と力”に感謝申し上げます。ありがとうございました。



2HN支え合う会1回目

2022年7月5日(火)

@名古屋市総合社会福祉会館

参加:33団体43名

2HNスタッフ 8名

2HN支え合う会2回目

2022年9月11日(日)

@2HN事務所

参加:14団体16名、

2HNスタッフ8名

「2HN支え合う会」アンケートより抜粋

全体会（交流会）開催内容に対して

- いろいろな団体がそれぞれ目的を持って活動していることを知ることができてよかったです。
- 2HNの実績、フードバンクの状況について、しっかりデータで示していてよく理解できた。
- 他団体との交流が楽しく学びがありました。
- 倉庫内の説明をいただき、団体個人それぞれに向けて細やかな対応をされていることが理解できました。
- 「支える会」から「支え合う会」に変更されたことは今後のフードバンク活動にとって、とても良いことだと思います。

受け取っている食品に対して

- パンやカップラーメンなど利用者が手軽に自宅で食べられるものが重宝しています。
- どの国や地域の方からも「お米が欲しい」と言わされているのでお米をお願いします。
- レトルト食品や缶詰など日持ちする食材が増えると助かります。
- なるべく日持ちするものをお願いしたいです。
- 子ども食堂に合わせた食品をご提供いただいて助かっています。
- いただいた食品を生かすのが腕の見せどころです。



愛知淑徳大学が昨年、災害備蓄品を当団体に寄付下さったことをきっかけに、フードバンクに興味を持った学生が「PASSREL(パスレル)」というフードドライブ団体を設立。学内で集めた食品を子ども食堂へ提供されています。

Q.子ども食堂へは早朝からの活動と伺いました。



はい。月一回、豊田市保見団地の子ども食堂へ朝6:30～のお手伝いです。外国人労働者の多い地域で、子ども達にとっても楽しみになっている「朝の子ども食堂」です。コロナ禍ではパンツリー(食材提供)に切替え活動をしています。

Q.2HN初の支援自販機です。ありがとうございます!
コカ・コーラさんの支援自販機は障害者支援など学内にも様々です。備蓄品寄付の繋がりから、今回2HNさんをとなりました。一号機は長久手キャンパスに。予定になかった星ヶ丘キャンパスにもぜひ置いて欲しい!と先日管理課に直談判。一度断られたりしましたが(笑)学内での仮の許可を頂けたところです。

Q.今後の活動のご予定は?

学内に留まらず現在、あらゆる提供実績のある企業さんを検索し電話で直接、食品提供のお願いをさせて頂いています。食品ロスについて、広く自ら行動して頂くにはどうすれば良いのだろうとSNSでロス回避の情報を発信しながら、まだまだ模索の毎日です。



9月21日付 中日新聞朝刊より

天白高校さんが5年目のフードドライブ(FD)

2017年、当時の生徒会所属の学生が当団体の活動体験に来所、翌年生徒会主催ではじめてのFDを実施。学生自らの働きかけが大人を巻き込み、初年度は有難いことにバザーでの収益金のご寄付まで頂いています。

Q.半年に1回のFD、苦労されるところはありますか?

基本高校生、「フードバンクって何?」から始まります。お知らせにQRコードで2HNの情報を入れたり、生徒会独自で紹介動画を作ったり。保護者会も含め、多方面からのアプローチは試みますが、見ない子は見ないが現実です。

Q.生徒会でFDに携わり、何か感じることはありますか?

「最初は「何?コレ」が正直なところでした。ですが自身が大人になった時、例えば街角の募金活動を見た時に、ただスルーするのではなく、ひとつひとつ心に留め反応できる大人でありたいと思うようになりました。」「私は看護志望です。2HNが日本在住の外国人も支援していると聞き、自身の夢が国際貢献にまで広がりました。感謝しかないです!」「1年の時に2HN理事長講演を聞きました。僕は法学部志望です。ぜひ日本のフードバンク関連の法整備を!」



★★★コロナ禍にもかかわらず両校の皆さんがとても真摯に関わって来て下さったことが伝わります。今後もどうぞよろしくお願ひ致します!★★★

学生向けの「ボランティアDAY」を開催中!

学生対象の活動体験が7月からはじめました。10/18には卒論を控えた女子学生2人が「食品ロスと貧困」をテーマに情報収集に来て下さいました。学生生活の一日を同世代の皆さんとわいわい楽しみにいらして下さい!

寄付のお願い

いつも2HNの活動へのご理解、ご協力をありがとうございます。私たちの活動は行政からの支援は一切なく、皆様からの寄付金、会費、助成金などにより支えられています。

今後も皆様のあたたかいご支援、何卒よろしくお願ひいたします。

※2HNは名古屋市の認定NPO法人で、2HNへの寄付は所得税の寄附金控除の対象となります。

銀行振込

三菱 UFJ 銀行 栄町支店 普通口座 0015287

特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋

※領収書が必要な方は、info@2h-nagoya.org までご連絡ください。

クレジットカード

単発での寄付だけではなく、毎月の継続寄付メニューもご用意しております。

1,000円/月 3,000円/月 5,000円/月 10,000円/月

セカンドハーベスト名古屋 寄付

